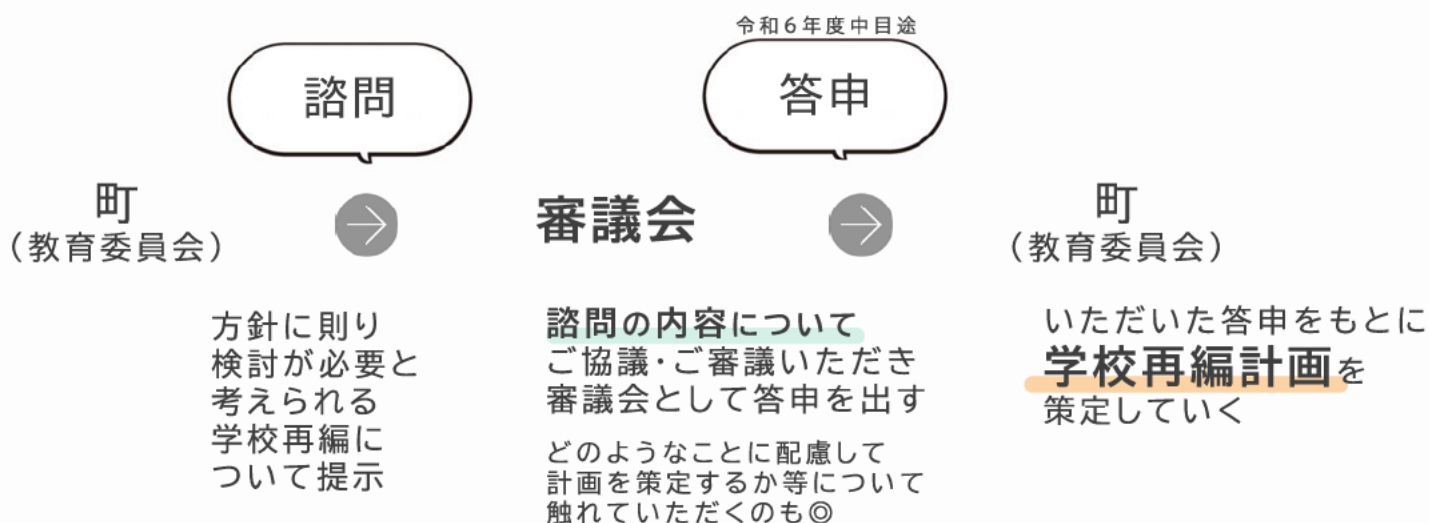


第1回 三芳町学校再編等審議会

説明・協議事項

- (1) 三芳町学校再編等審議会の役割について
- (2) これまでの取り組み
- (3) 三芳教育と小中学校等の現状

(1) 三芳町学校再編等審議会の役割について



学校再編計画とは

- 再編の対象校
 - 再編等の時期
 - 再編の進め方
- を示すもの

今後の町の状況

より良い
教育環境の構築

施設の状況

等

を踏まえて策定

2

(2) これまでの取り組み

三芳町小中学校適正規模適正配置検討委員会

「学識経験者」「行政経験者」「地域住民」「保護者」「学校関係者」

の立場の異なる9名の委員で構成。

児童生徒の減少が進む中であっても、三芳町の子どもたちにとってよりよい教育環境の充実が図られるよう、望ましい学校規模の在り方について、令和4年5月から12月（全5回）の会議において議論いただいた。

令和4年12月 ▶ 三芳町立小中学校適正規模適正配置報告書（答申）

3

(2) これまでの取り組み

三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針

子どもたちにとって望ましい教育環境を整備するという観点から、今後の三芳町立小中学校の適正な規模及び配置の基本となる方針

三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針 策定まで

三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針（案）の作成



2022.
12~1

パブリックコメント（及び説明会等）の実施



2023.
2

三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針 策定

4

三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針「基本的な考え」

- 三芳町の特色ある教育をより一層推進し、実現を図るためには、一定の学校規模が必要
- 学校再編等における通学路の設定や新たな学校の設置において児童生徒の安全面と心身の過度な負担とならないことを前提とした通学方法を検討することが望ましい

適正規模適正配置の条件

- ① 多様な人間関係を育むため、適正な学級集団の規模であること
- ② 一定の教職員数が確保でき、経験年数や専門性等、バランスのとれた教員集団であること
- ③ 中学校は全ての教科で専門の免許を有する教員数が確保できる規模であること
- ④ 登下校において、児童生徒の心身に過度な負担にならない配置であること

5

三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針《小中学校の適正規模・配置》

学級数の基準

- ① 小学校
多様な考え方に触れるとともに、新たな人間関係を築くため、クラス替えが可能である1学年2学級以上
- ② 中学校
小学校と同様にクラス替えが可能であるとともに、全ての教科で専門の教員数を確保できる、全学年で12学級以上

適正配置の基準

- ① 小学校
おおむね3 km程度
- ② 中学校
おおむね4 km程度

※左記の距離を超過する場合は、安全面に配慮した通学方法について検討する。

6

三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針《配慮すべき事項》

- ✓適正とする規模を下回る場合には、保護者や地域の方々と合意形成を図りながら学校再編等の検討を進めていくものとする
- ✓検討にあたっては、地域の特性を捉えながら、子どもたち同士の学び合いを含めた多様な人間関係を育むためのよりよい教育環境を創造していくことを重視する

7

(3) 三芳教育と小中学校等の現状【三芳教育】

三芳町 ICTを活用した学びの推進<三芳町GIGAスクール構想> ～主体的に考え、協働的に課題解決する力の育成～

三芳町教育委員会

これからの変化の激しい予測困難な社会を子供たちが主体的に生きるためには、一人一人の個性を高め、心身共に健康で感性豊かな心と創造性をほぐし、志を持って自らの未来を切り拓く力を育成することが大切です。そこで、三芳町の子供たちを誰一人取り残すことなく、個別最適な学びと協働的な学びにより、よさや可能性を伸ばし、資質・能力を育成するために、一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークを整備しICT環境を充実させ、子供たち・教職員の力を最大限に引き出す「三芳町GIGAスクール構想」の取組を進めます。

学習環境整備と教育の高度化の推進

- 学習の基礎・基礎となる情報活用能力の育成
- 専科専修・横断的・縦断的・多岐にわたるICT環境の整備
- プロダクト開発の推進
- 教科書の活用におけるICTの活用（問題解決・探究における情報活用）

個人の学びの充実

- 教育のツールとして必要不可欠なICTを心身に及び影響に留意しつつ、日常的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の環境整備に力を入れます
- ICTの活用機会が多岐にわたるよう、学年と教員との組み合わせの中で教育効果を最大化します
- 個別最適な学びと協働的な学びを推進します

未来につなぐひとまちあひり育れる町
三芳町はふるさと教育（R3～R5）

【基本目標】

- みんなであそびをたのびます
- 安全安心で暮らしをたのびます
- 緑と水がもたらす力をたのびます

「1人1台端末」を最大限に活かす「学びの改革」

- 誰一人取り残すことなく「すぐにでも」どの教科でも「端末を活用できるICT環境」
 - 教材・授業や学習ツールの一つとして、端末を日常的に活用
- 教科の学びを深め、学びの本質に迫る授業改善
 - 協働的な学びを推進する「コミュニケーション」としての端末の活用
- 教科の学びをつなぎ、協働して課題解決する教育課程の工夫
 - 一貫した過程における様々な場面において、端末を効果的に活用

未来を拓く学びに変える

<学びの姿>

- 個別最適な学びの深化 ⇒ 一人一人の学習状況を把握し、それを踏まえた双方志向の深い学び
- 協働学習 学びの転換 ⇒ 一人一人が役割に即した内容を学習し学習効果を高めることで、教育的ニーズや学習状況に応じた個別最適な学び
- 協働学習 学びの転換 ⇒ 一人一人が役割を分担・協働し、多様な意見に触れ、ともに課題解決する協働的な学び

人と人がつながる

- すべての子供に質の高い教育の実現
 - 学習活動の一層の充実
 - 主体的・対話的で深い学びの実現
 - 情報活用能力の育成
- 特別支援教育における教育の質の向上
 - 不登校児童・生徒への学習支援の向上
 - 働き方改革の推進
 - 日常の教員学習や採点の業務負担軽減
 - 役割のペーパーレス化
 - 家庭との連携のオンライン化

「1人1台端末」を最大限に活かすICT活用例

- 「すぐにでも」「どの教科でも」日常的に活用する1人1台端末
 - 授業リソースを活用した調べ学習
 - 一斉学習の場面での活用（教材提示・双方向的な学習）
 - オンライン表示機能を活用した個別学習、学習の共有、遠隔授業
 - 一人一人の学習状況に応じた個別学習（ドリル学習・検定試験）
 - 遠隔学習（反転学習・オンライン学習）
- 教科の学びを深める 教科の学びの本質に迫る授業改善
 - 国語・文章の理解、文章の分析、動物図鑑でのスピーチ練習等
 - 社会・情報収集・分析・数値・プレゼンソフトでの発表、発表等
 - 算数・数学・数値グラフ作成、関数や図形などの変化を可視化等
 - 理科・実験、実験を動画撮影し分析、発表等
 - 体育・思考実験、表現場面での考えの共有等
 - 外国語・遠隔学習等によるコミュニケーション能力の向上
 - 音楽、書写、図画工作、美術・表現、鑑賞の活動の充実（写真、録音・動画編集ソフト活用による思考の共有）
 - 音楽、録音・動画編集ソフト活用による思考の共有
- 教科の学びをつなぎ、協働して課題解決する教育課程の工夫
 - ICTを含む様々なツールを駆使して、各教科等の学びをつなぎ探究する
 - 探究のプロセスにおける様々な場面において、ICTを効果的に活用する

探究のプロセス

- 課題の設定：実社会の課題状況に即した課題、課題や教材等、協働的に課題設定を決定
- 情報の収集・分析：情報収集ツール活用、オンライン学習、アンケート調査、インタビュー等
- 情報分析-整理・編集・発表：クラウド活用、資料分析、情報の整理、発表、プレゼンテーション、録音・録画
- まとめ-発表：録音・録画、プレゼンテーション、ディスカッション、発表場での発表

学びの改革への原動力は、教職員の主体性

やってみよう！ 挑戦も失敗も

子どもたちを誰一人取り残すことなく、「個別最適な学び」と「協働的な学び」により、よさや可能性を伸ばし、資質・能力を育成する

今後、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、多様な他者と協働し、よりよい学びを生み出す「協働的な学び」も大切にすることで、子どもたちに質の高い学校教育の実現をさらに進めていく必要がある

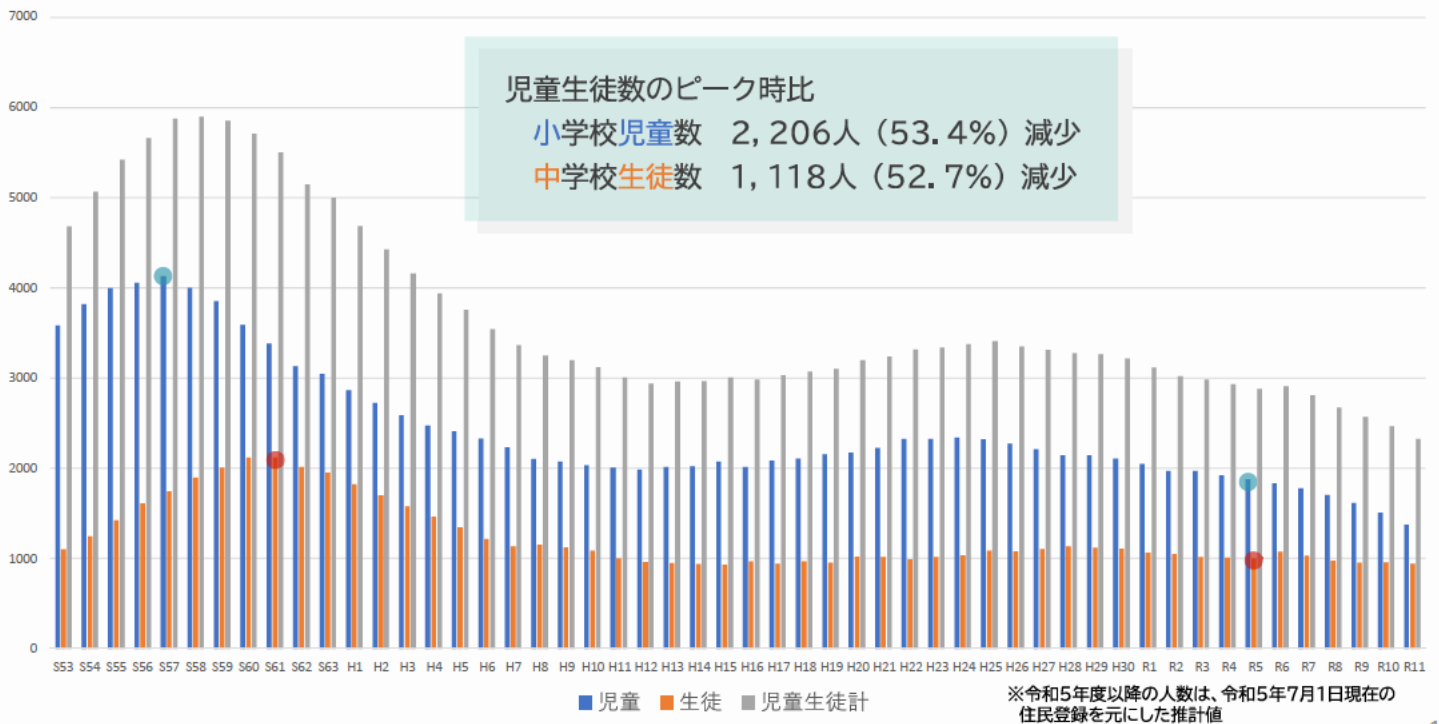
(3) 三芳教育と小中学校等の現状【入学者数】

令和5年7月1日現在の住民登録を元にした人数

| 学校名 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 三芳小 | 71 | 68 | 60 | 50 | 44 | 30 | 38 | 38 | 25 |
| 藤久保小 | 124 | 132 | 123 | 112 | 124 | 110 | 113 | 96 | 81 |
| 上富小 | 18 | 20 | 14 | 18 | 11 | 13 | 15 | 16 | 5 |
| 唐沢小 | 66 | 62 | 61 | 57 | 48 | 45 | 45 | 45 | 38 |
| 竹間沢小 | 37 | 33 | 31 | 26 | 38 | 28 | 27 | 22 | 17 |
| 大井小(※) | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 |
| 西原小(※) | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 318 | 316 | 290 | 263 | 265 | 227 | 238 | 219 | 166 |

※ ふじみ野市との教育事務委託地区として大井小、西原小へ就学する児童数
■ 1学級を示す

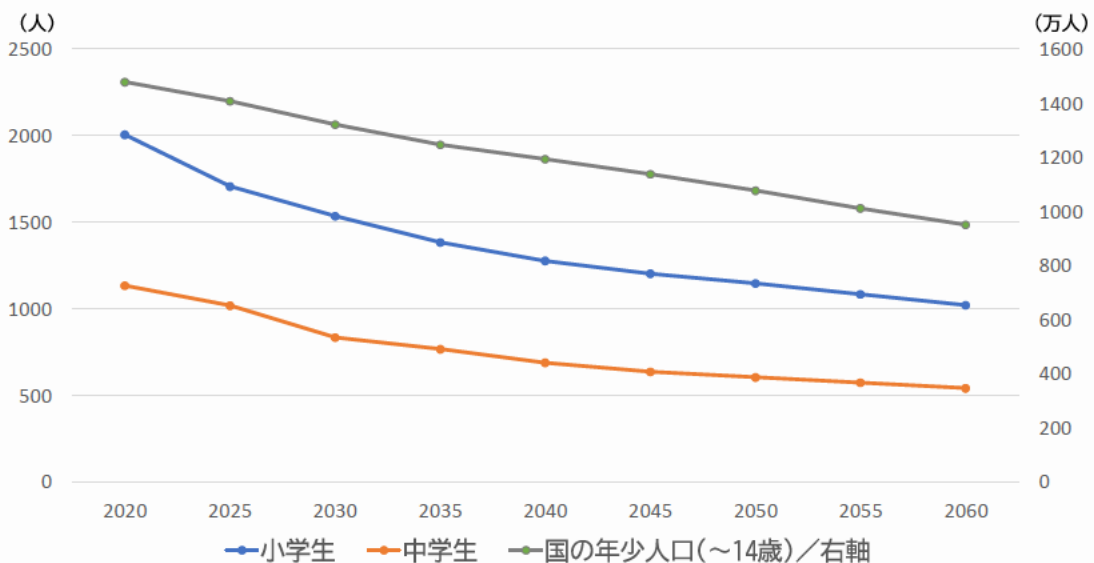
(3) 三芳教育と小中学校等の現状【人口推計】



(3) 三芳教育と小中学校等の現状【人口推計】

人口推計

町/2019年4月1日現在（住民基本台帳）を推定条件にコーホート要因法を用いて作成
 国/少子化社会対策白書（令和4年版）より抜粋

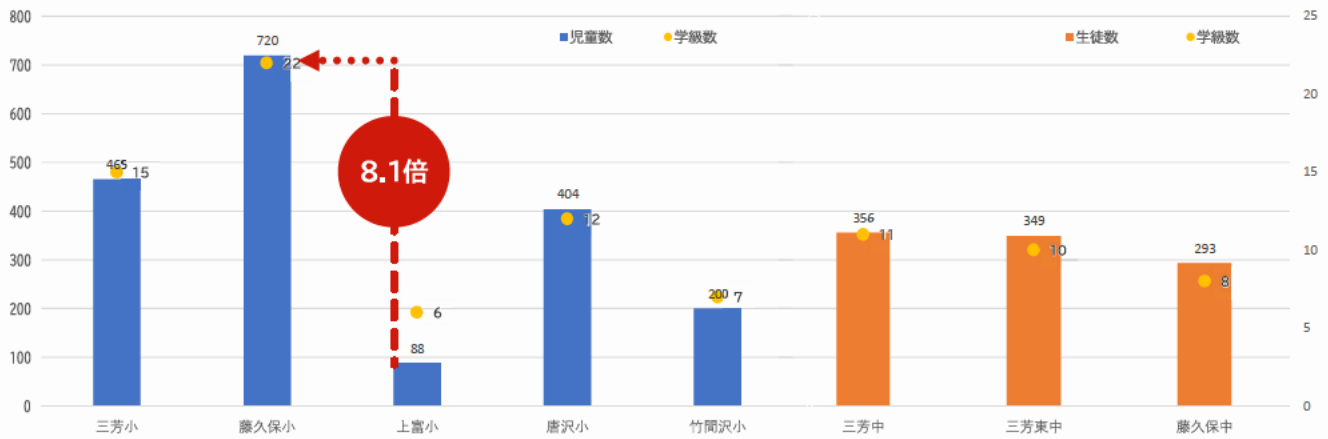


(3) 三芳教育と小中学校等の現状【学校規模】

令和5年度の各校の規模を比較すると、

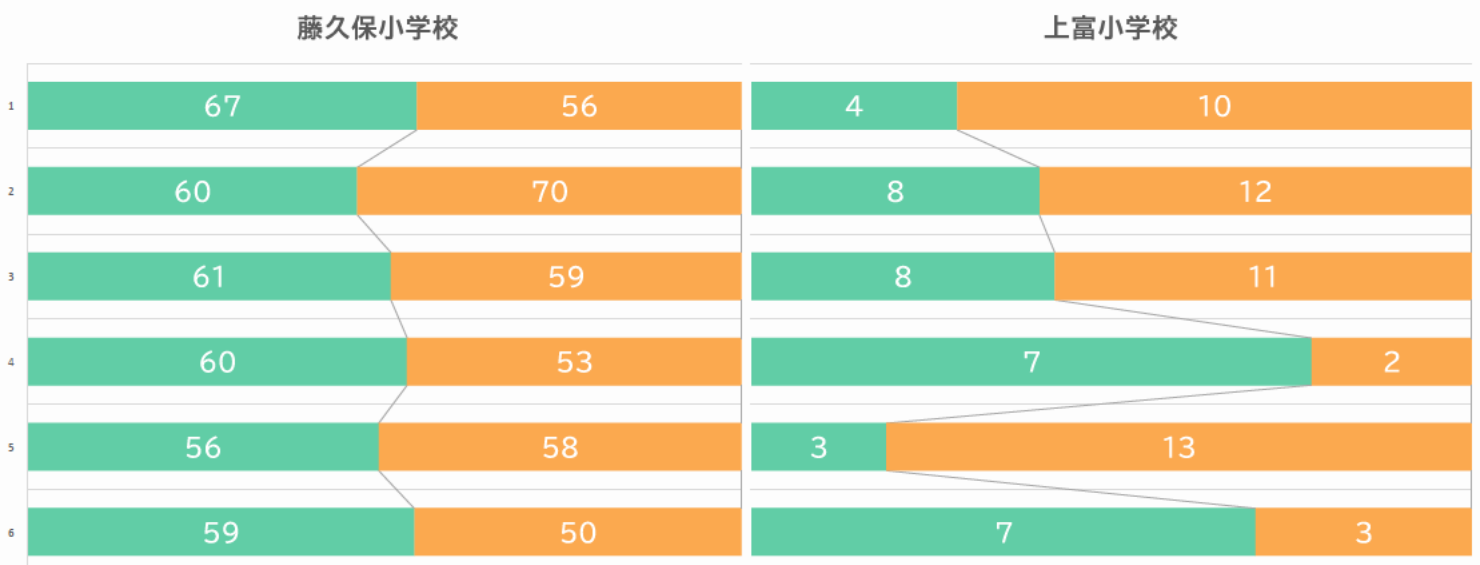
小学校では藤久保小学校の701人（通常学級数21）から、上富小学校の94人（通常学級数6）まで

中学校では三芳東中学校の372人（通常学級数11）から、藤久保中学校の269人（通常学級数7）までの様々な規模の学校があります。

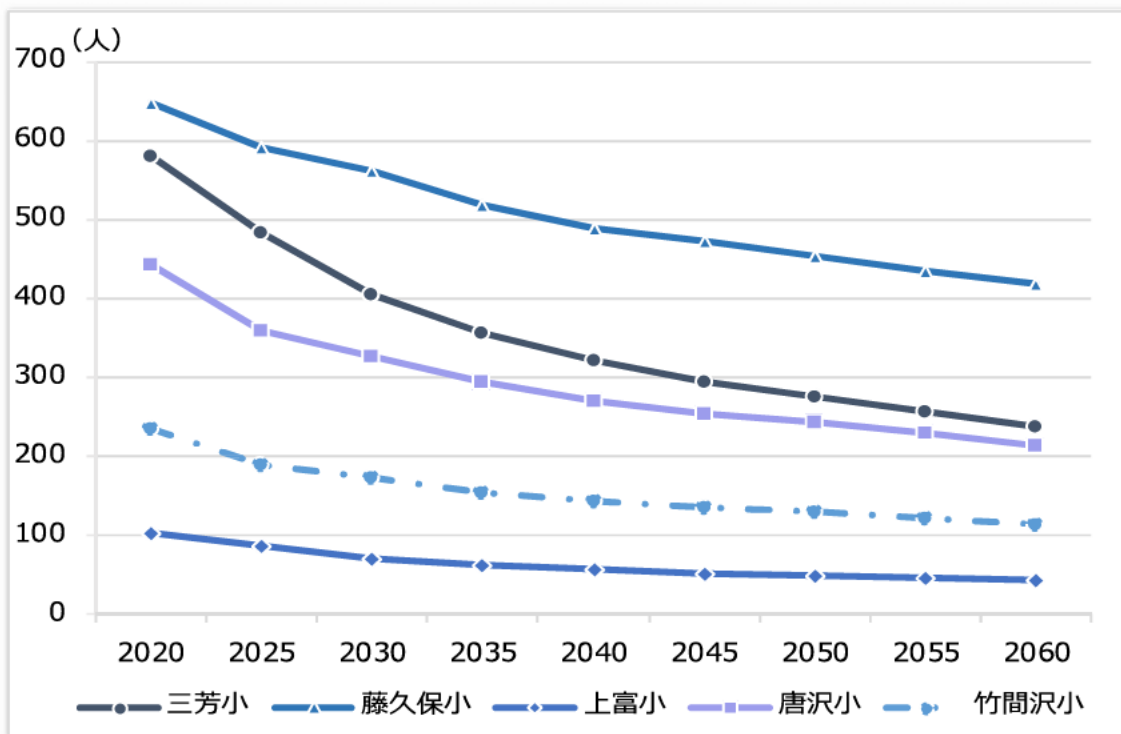


(3) 三芳教育と小中学校等の現状【男女比】

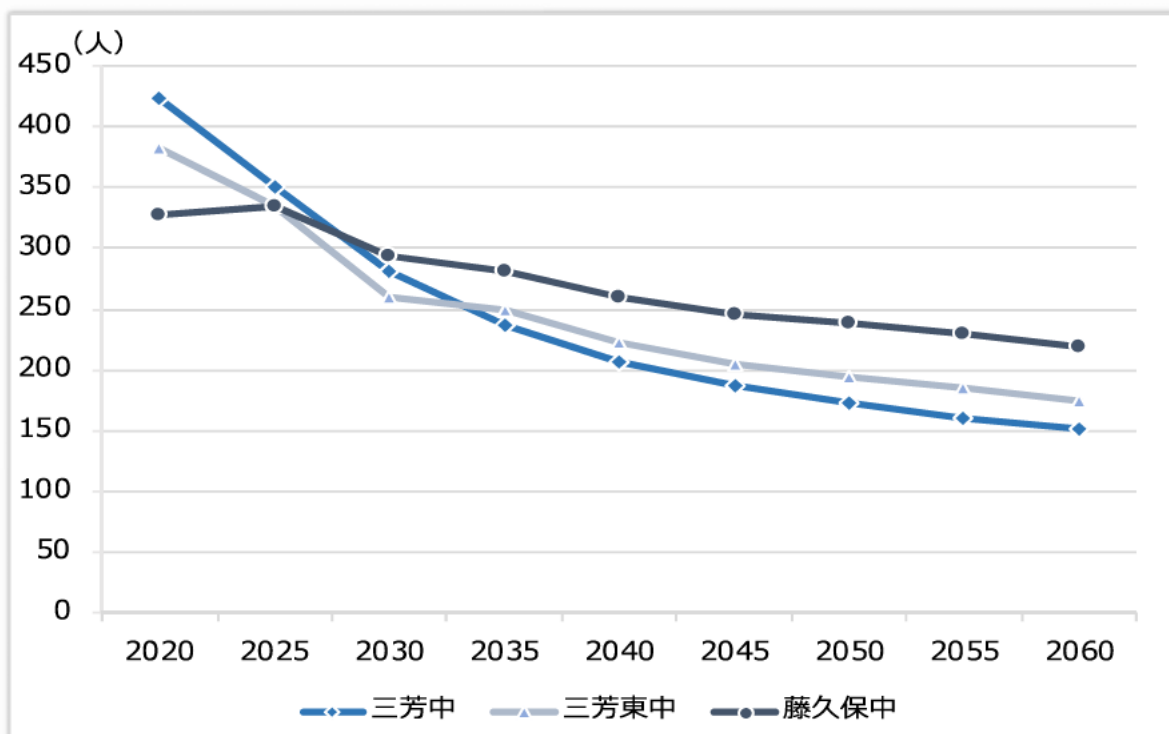
令和5年度の藤久保小学校と上富小学校の各学年男女比を比べると、



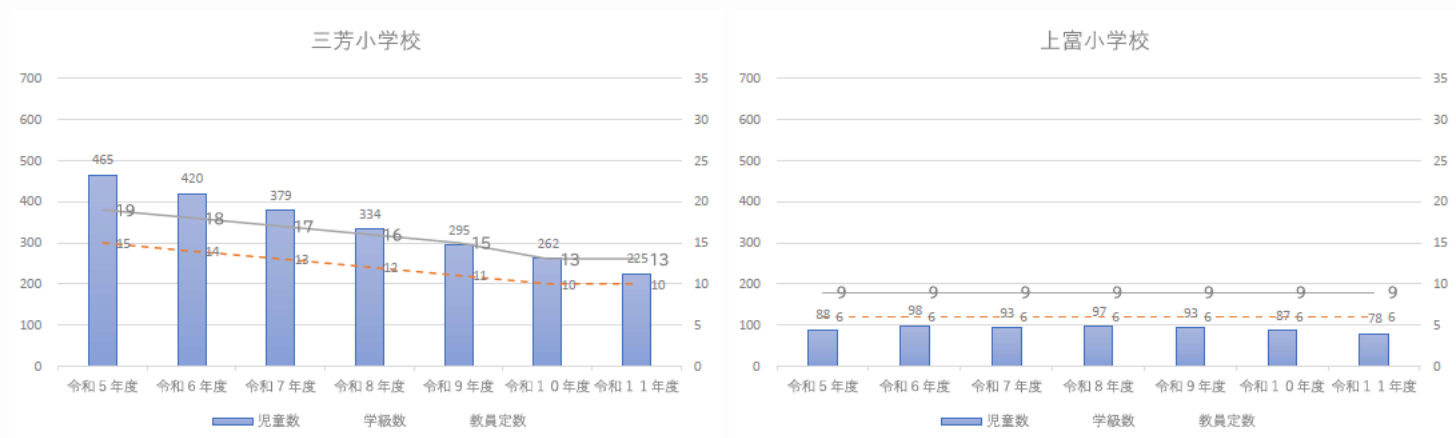
(3) 三芳教育と小中学校等の現状【学校別推計】



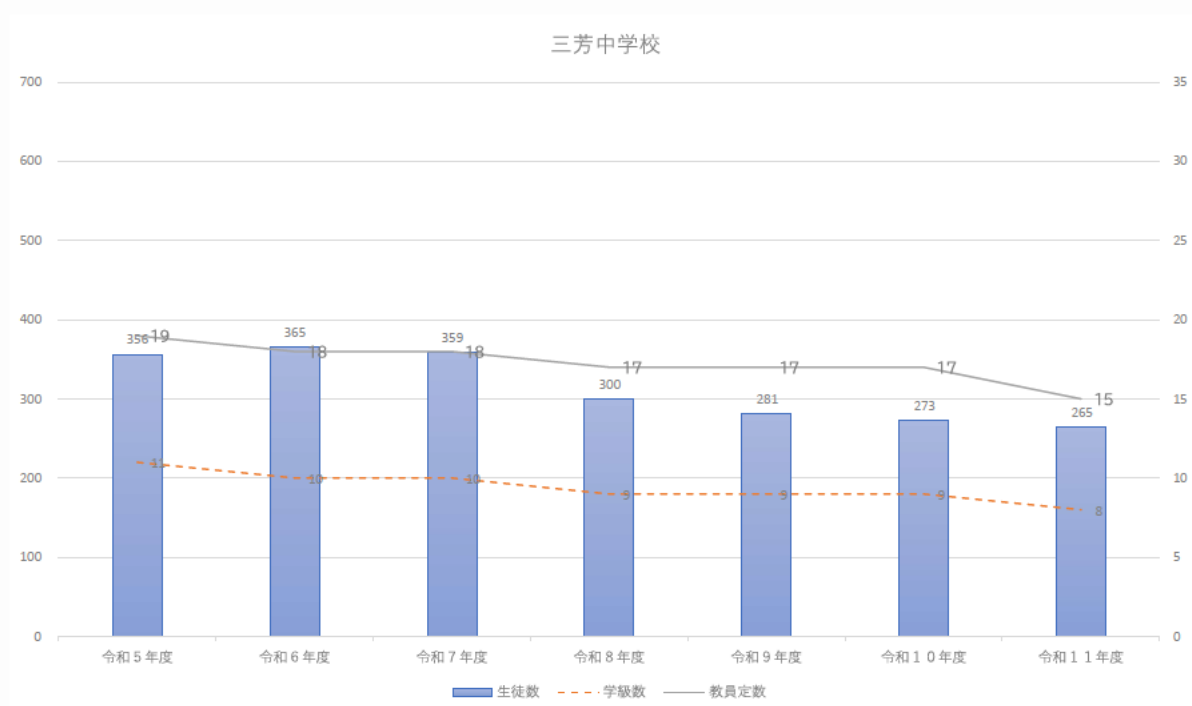
(3) 三芳教育と小中学校等の現状【学校別推計】



(3) 三芳教育と小中学校等の現状【学校別推計】

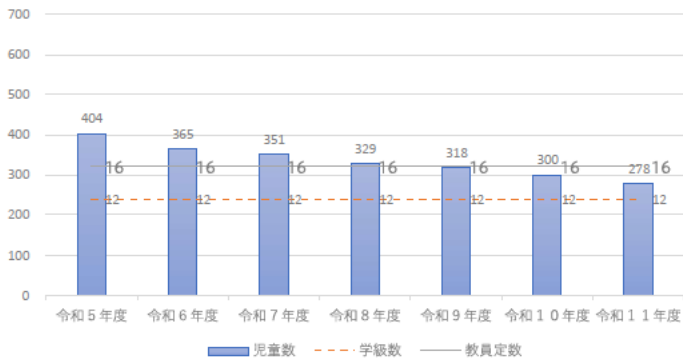


(3) 三芳教育と小中学校等の現状【学校別推計】

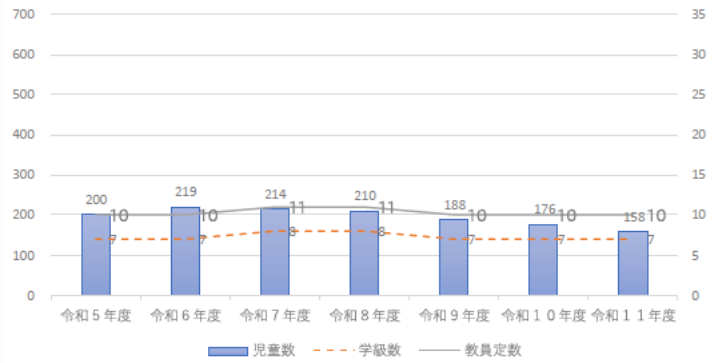


(3) 三芳教育と小中学校等の現状【学校別推計】

唐沢小学校

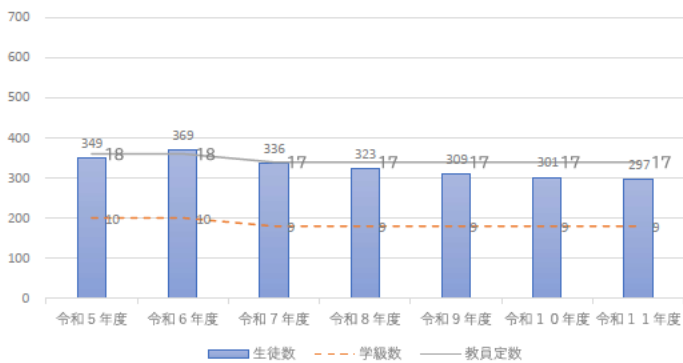


竹間沢小学校

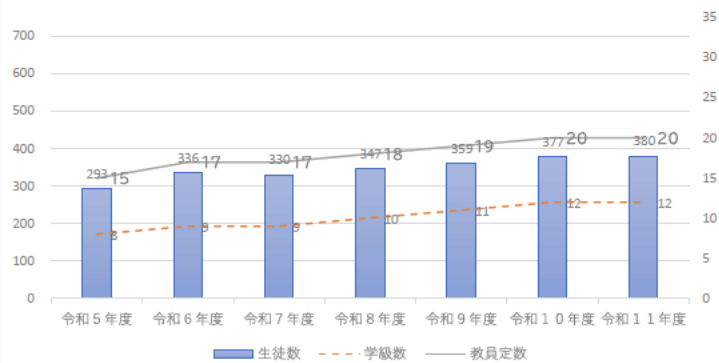


(3) 三芳教育と小中学校等の現状【学校別推計】

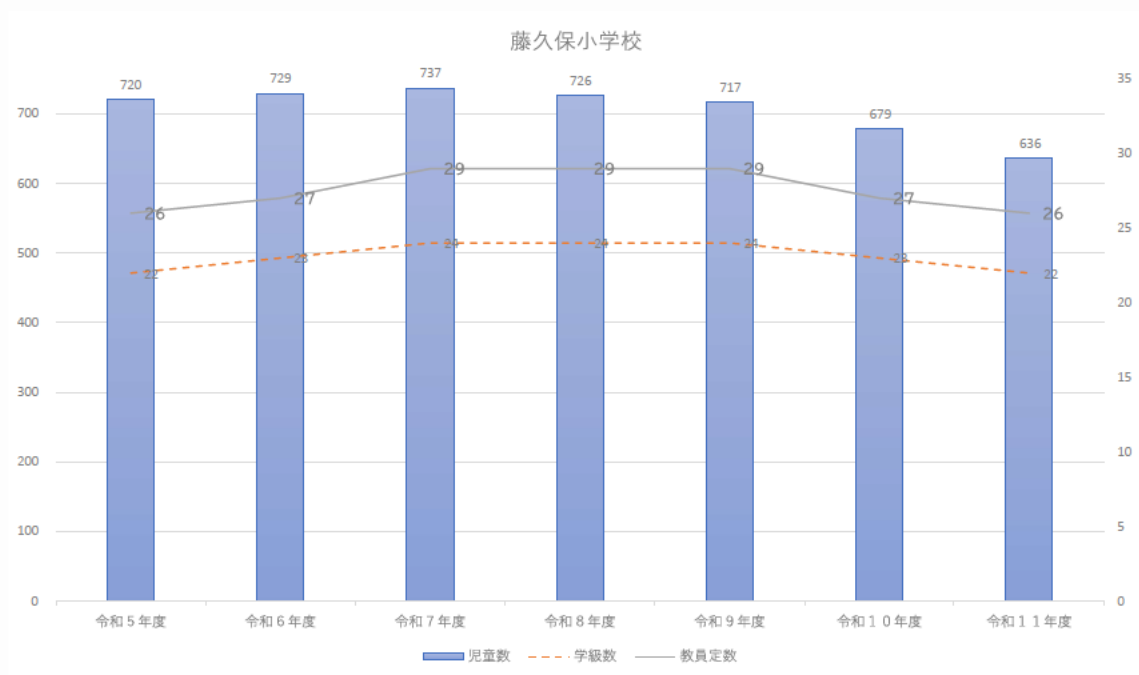
三芳東中学校



藤久保中学校



(3) 三芳教育と小中学校等の現状【学校別推計】



三芳町立小中学校の現状 << 学校施設：小中学校の建物状態等 >>

三芳町公共施設マネジメント基本計画(令和3年3月) P.67「耐用年数の考え方」

三芳町公共施設マネジメント基本計画では、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）における考え方等を参考に、建物躯体や部位部材の物理的耐用年数を基本に構造種別の「耐用年数の目安」を下記の通り設定している。

表：構造種別の耐用年数

| 耐用年数 | 耐用年数の目安 |
|--|---------|
| 構造種別 ・ RC（鉄筋コンクリート） ・ SRC（鉄骨鉄筋コンクリート） ・ S（重量鉄骨） | 60年間とする |

三芳町立小中学校の現状 < 学校施設：小中学校の建物状態等 >

三芳町公共施設マネジメント基本計画(令和3年3月) P.39 「対象施設の基本情報」

| 施設名 | 地区 | 区域区分 | 単独/複合 | 管理運営形態 | 施設面積 | | 構造 | 建設年数 | |
|--------|-------|---------|-------|--------|-----------|----------|------|-----------------|------|
| | | | | | 敷地面積 (㎡) | 延床面積 (㎡) | | 建設年 | 経過年数 |
| 三芳小学校 | 北永井地区 | 市街化調整区域 | 複合 | 直営 | 14,012.00 | 6,570.64 | RC/S | 昭和44年 (1969) | 52 |
| 藤久保小学校 | 藤久保地区 | 市街化区域 | 複合 | 直営 | 17,026.00 | 8,124.66 | RC/S | 昭和46年 (1971) | 50 |
| 上高小学校 | 上富地区 | 市街化調整区域 | 複合 | 直営 | 11,076.00 | 3,574.05 | RC/S | 昭和47年 (1972) | 49 |
| 唐沢小学校 | 藤久保地区 | 市街化調整区域 | 複合 | 直営 | 17,777.00 | 6,269.38 | RC/S | 昭和50年 (1975) | 46 |
| 竹間沢小学校 | 竹間沢地区 | 市街化調整区域 | 単独 | 直営 | 14,919.00 | 5,435.67 | RC/S | 昭和56年 (1981) | 40 |
| 三芳中学校 | 北永井地区 | 市街化調整区域 | 単独 | 直営 | 17,555.00 | 5,858.14 | RC/S | 昭和48年 (1973) | 48 |
| 三芳東中学校 | 藤久保地区 | 市街化調整区域 | 単独 | 直営 | 19,387.00 | 7,119.10 | RC/S | 昭和52年 (1977) | 44 |
| 藤久保中学校 | 藤久保地区 | 市街化調整区域 | 単独 | 直営 | 20,861.00 | 6,490.53 | RC/S | 昭和59年 (1984) | 37 |

平成19年から平成25年にかけて耐震改修耐震改修工事等に取り組んできた。

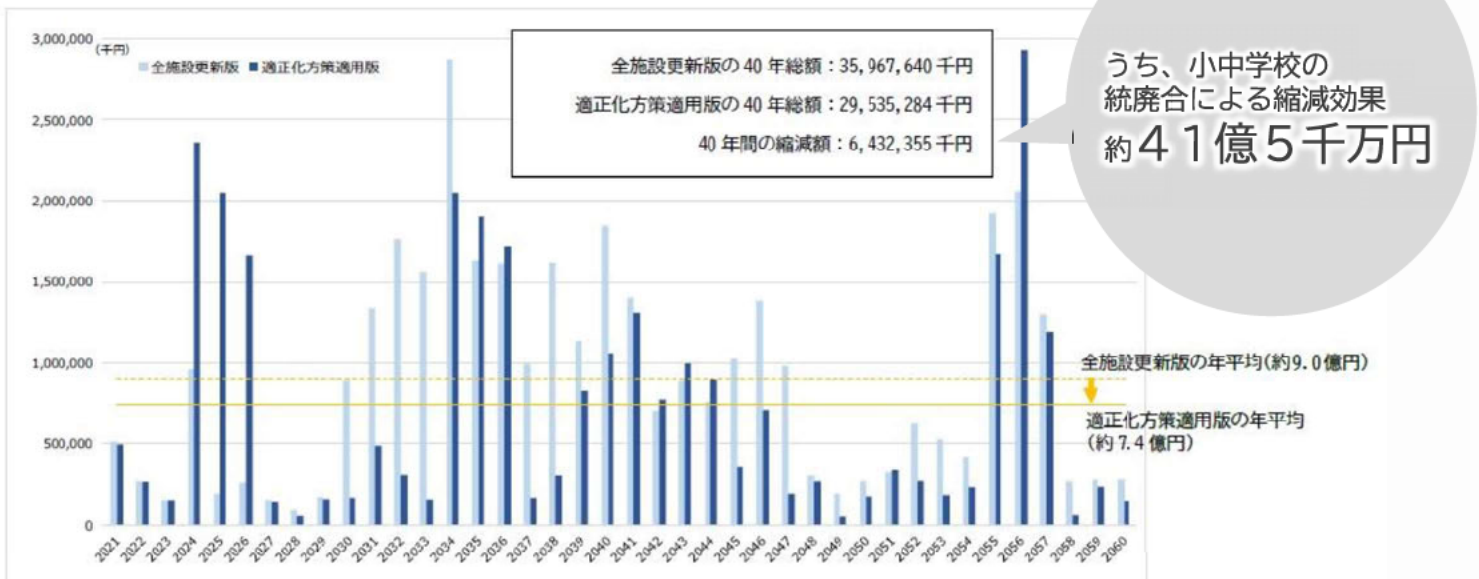
令和2年度に「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(文部科学省)」に基づき、町内学校施設の劣化状況調査を実施。

今後は施設の安全と機能の維持に一層多額の費用がかかることが見込まれる。

22

三芳町立小中学校の現状 < 学校施設：学校施設の予算 >

適正化方策による修繕・更新費の縮減効果



三芳町公共施設マネジメント基本計画(令和3年3月) P.70 「公共施設の適正化による修繕・更新費用の縮減効果」

23

望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

町立小中学校に在籍する児童生徒、保護者、教職員、学校運営協議会委員を対象にアンケートを実施

①対象者とその回答率

| 対象者 | 対象者数 | 回答者数 | 回答率 |
|-------------------|----------|--------|------|
| 町内小中学校全学年児童生徒保護者 | 約 2,450名 | 1,473名 | 約60% |
| 町内在住小中学校学校運営協議会委員 | 約 60名 | 33名 | 約55% |
| 町内小中学校県費負担教職員 | 約 180名 | 125名 | 約69% |
| 町内小学校3学年児童 | 約 280名 | 277名 | 約99% |
| 町内小学校6学年児童 | 約 350名 | 321名 | 約92% |
| 町内中学校3学年生徒 | 約 350名 | 302名 | 約86% |

②調査実施時期 令和4年7月15日（金）～8月7日（日）

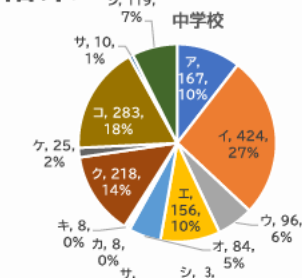
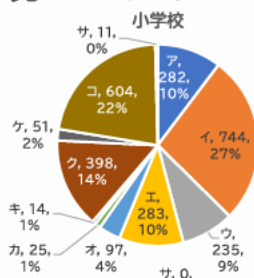
③調査方法 Google Formsを活用したオンライン回答

望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

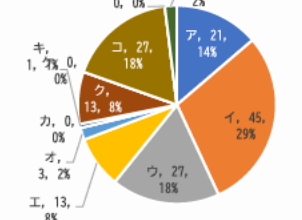
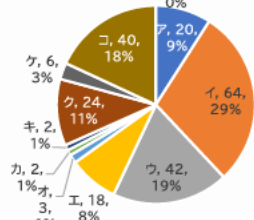
設問1 学校における教育環境について

- ア 校舎・設備などの環境
- イ 教職員の人数や指導方法などの環境
- ウ 学校の児童数や1学年あたりの学級数、1学級あたりの人数による環境
- エ 児童相互の意見交換など関わりが多く、切磋琢磨しあえる環境
- オ タブレットや電子黒板など、情報教育に関わる環境
- カ 蔵書や司書の配置など学校図書に関わる環境
- キ (オ・カ)の項目を除く教材教具などの環境
- ク 社会性や協調性を育む環境
- ケ 地域社会と連携できる地域の環境
- コ 安全・安心な生活ができる学校・学級の環境
- サ その他
- シ 部活動が充実して行うことができる環境

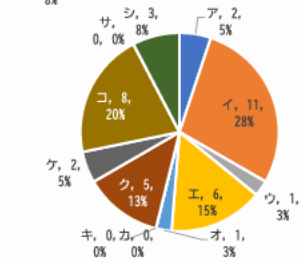
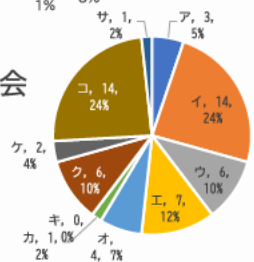
【保護者】



【教職員】



【運営協議会委員】

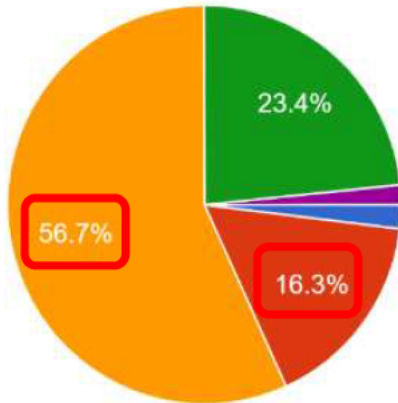


望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

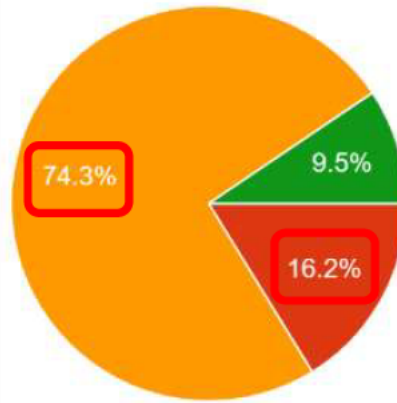
設問2 学校の学級数について／小学校

- ア. 1学年あたり1学級
- イ. 1学年あたり2学級
- ウ. 1学年あたり3学級
- エ. 1学年あたり4学級
- オ. 1学年あたり5学級以上

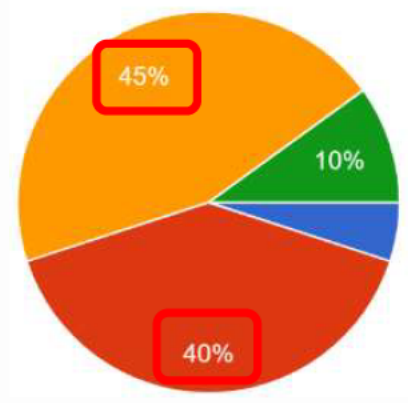
【保護者】



【教職員】



【運営協議会委員】

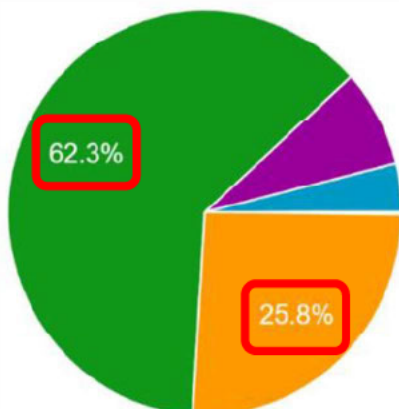


望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

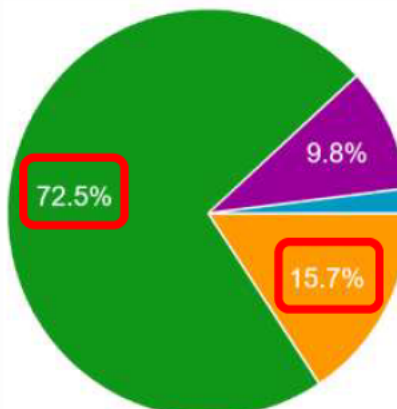
設問2 学校の学級数について／中学校

- ア. 1学年あたり1学級
- イ. 1学年あたり2学級
- ウ. 1学年あたり3学級
- エ. 1学年あたり4学級
- オ. 1学年あたり5学級
- カ. 1学年あたり6学級以上

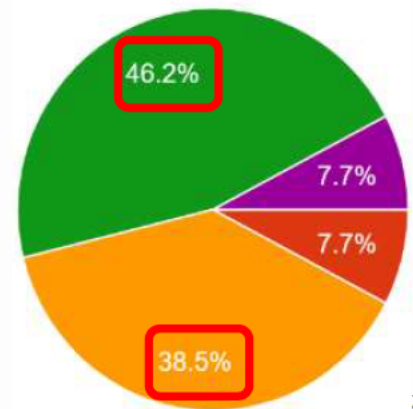
【保護者】



【教職員】



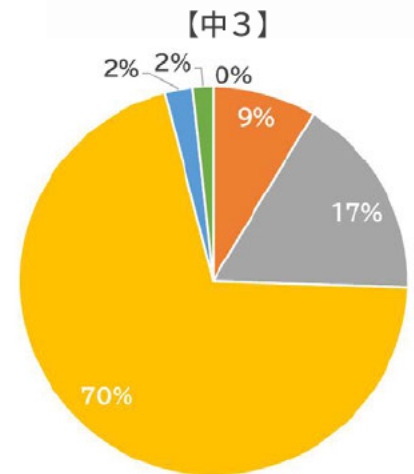
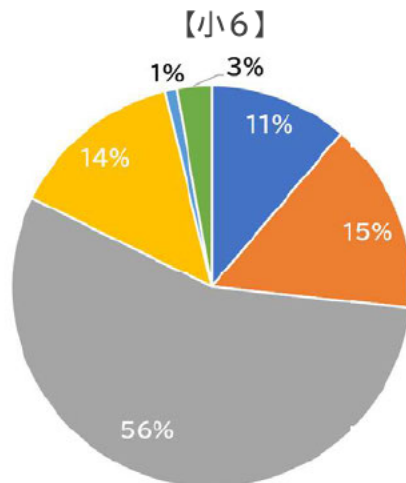
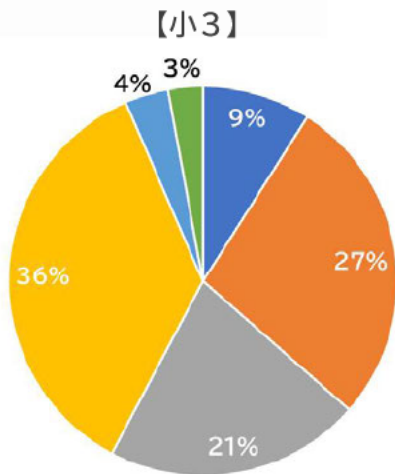
【運営協議会委員】



望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

設問2 学校の学級数について／児童生徒回答

- ア. 1学年あたり1クラス
- ウ. 1学年あたり3クラス
- オ. 1学年あたり5クラス
- イ. 1学年あたり2クラス
- エ. 1学年あたり4クラス
- カ. 1学年あたり6クラス以上

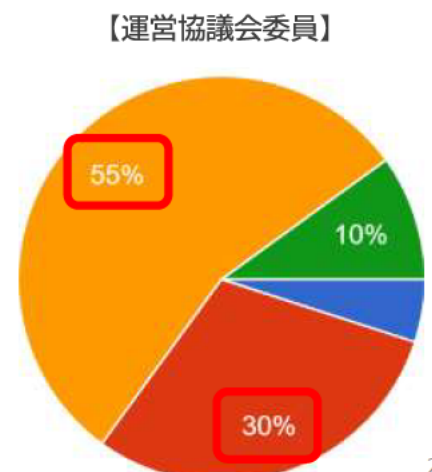
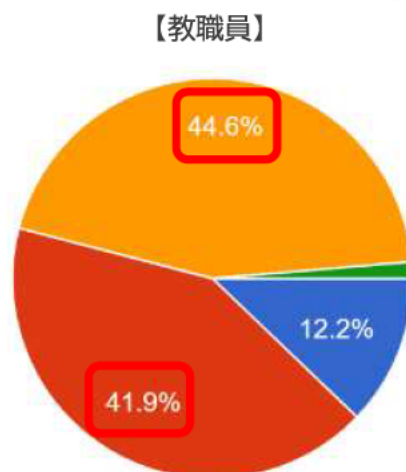
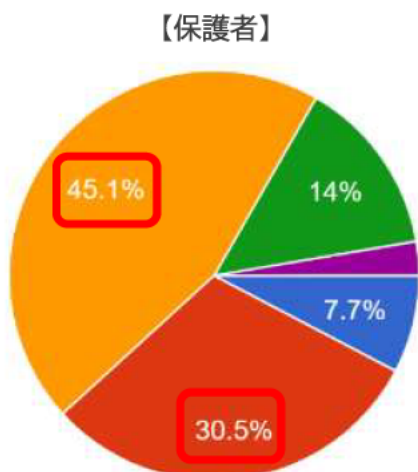


在籍する学校の学級数、学級人数が適切であると考えている傾向

望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

設問2 学校の学級人数について／小学校

- ア. 1学級あたり20人以下
- イ. 1学級あたり21人から25人
- ウ. 1学級あたり26人から30人
- エ. 1学級あたり31人から35人
- オ. 1学級あたり35人から40人

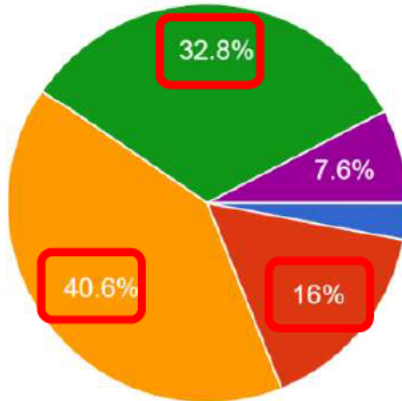


望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

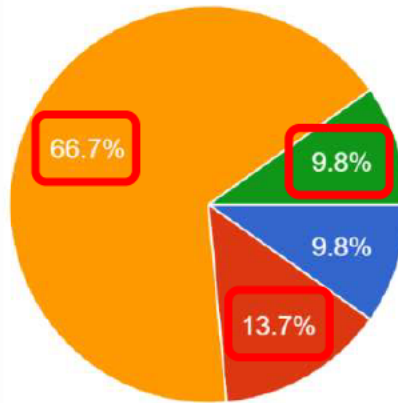
設問2 学校の学級人数について／中学校

- ア. 1学級あたり20人以下
- イ. 1学級あたり21人から25人
- ウ. 1学級あたり26人から30人
- エ. 1学級あたり31人から35人
- オ. 1学級あたり35人から40人

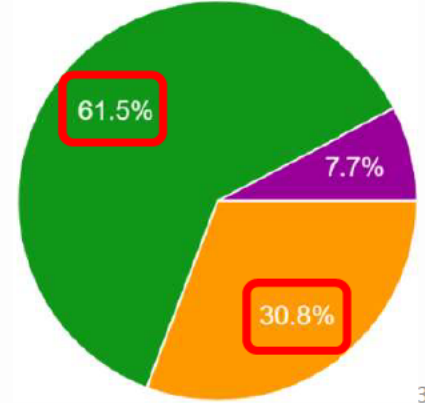
【保護者】



【教職員】



【運営協議会委員】

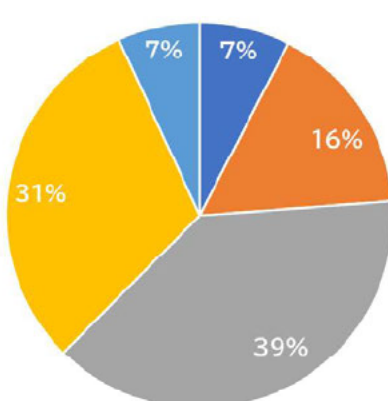


望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

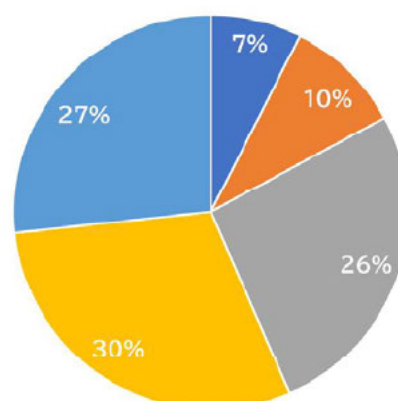
設問2 学校の学級人数について／児童生徒回答

- ア. 1クラスあたり20人以下(1人～19人)
- イ. 1クラスあたり21人から25人
- ウ. 1クラスあたり26人から30人
- エ. 1クラスあたり31人から35人
- オ. 1クラスあたり35人から40人

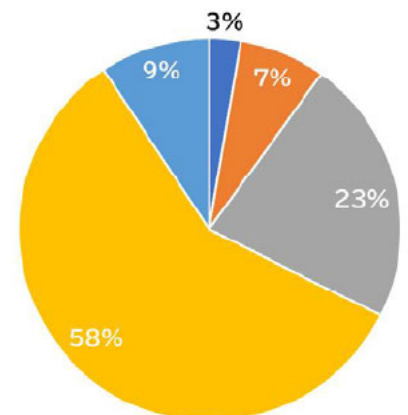
【小3】



【小6】



【中3】



在籍する学校の学級数、学級人数が適切であると考えている傾向

望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

設問3 児童生徒数・学級数の減少による影響について

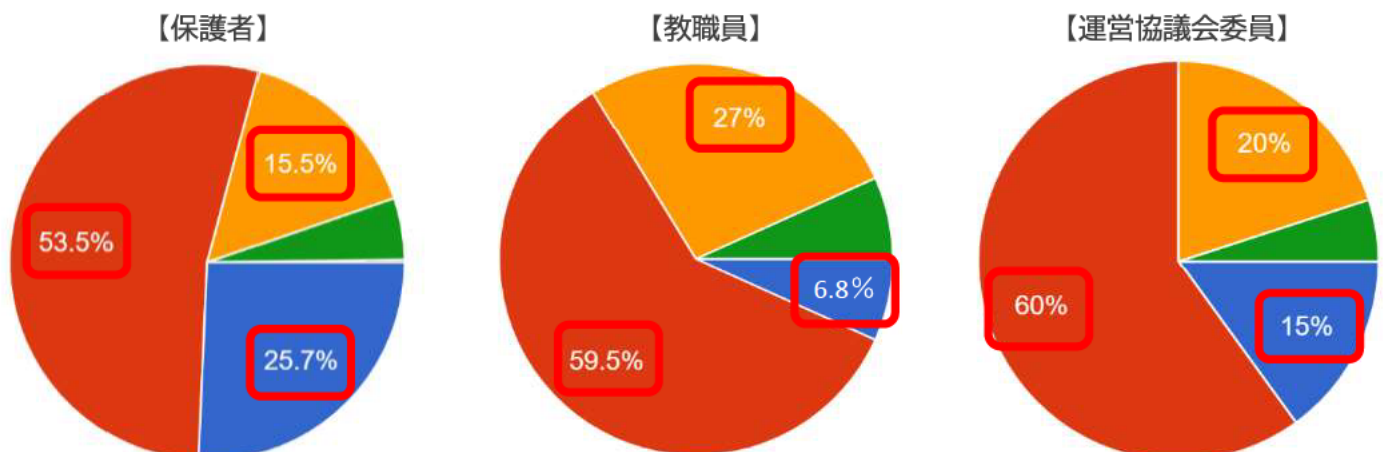
- 「そう思う」、「やや思う」という回答が全ての対象者で多かったもの
- ✓ クラス替えなどを通じた人間関係に変化を持たせることが難しくなる
 - ✓ 教員数が少なくなることによるチームティーチングや、習熟度別学習が難しくなる
 - ✓ 多様な見方や考え方に触れる機会が少なくなる
 - ✓ 役割や負担が大きくなる
 - ✓ 行事の盛り上がりに欠ける
 - ✓ 部活動の選択の幅に影響がある
 - ✓ 体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる
 - ✓ 施設教具が利用しやすくなる
 - ✓ 教師の目が行き届きやすくなる

32

望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

設問4 通学距離について／小学校

- ア. 1. 0 km以内
- イ. 2. 0 km以内
- ウ. 3. 0 km以内
- エ. 4. 0 km以内
- オ. それ以上

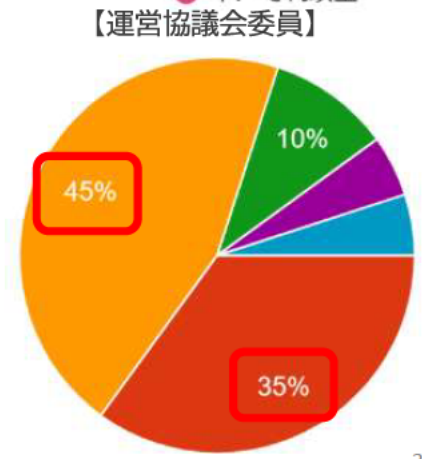
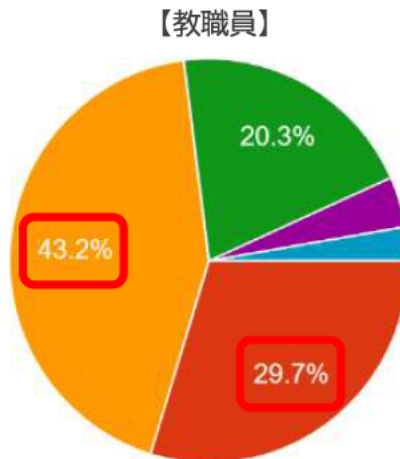
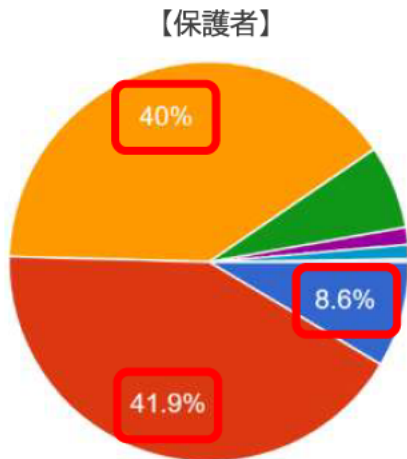


33

望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

設問4 通学時間について／小学校

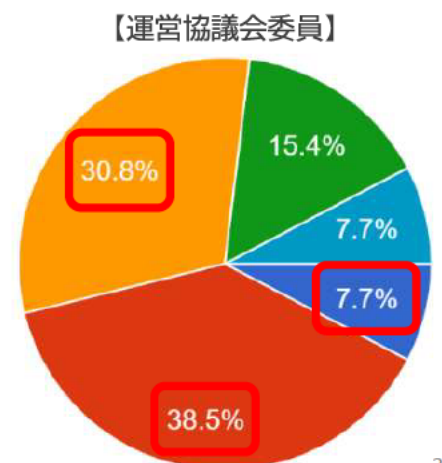
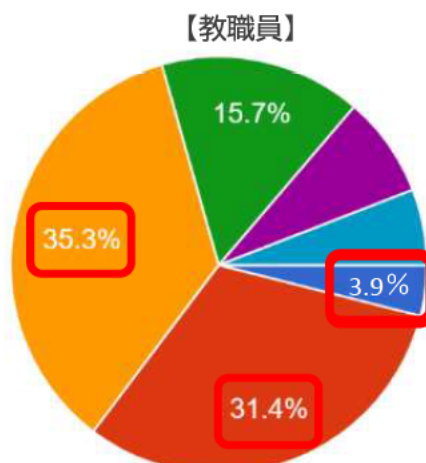
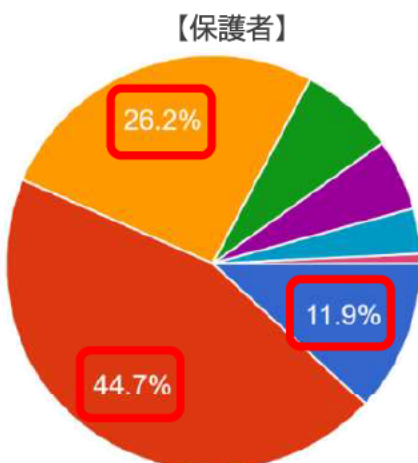
- ア. 10分以内
- イ. 20分以内
- ウ. 30分以内
- 工. 40分以内
- オ. 50分以内
- カ. 60分以内
- キ. それ以上



望ましい教育環境≪三芳町が目指す教育環境：アンケート結果≫

設問4 通学距離について／中学校

- ア. 1.0 km以内
- イ. 2.0 km以内
- ウ. 3.0 km以内
- 工. 4.0 km以内
- オ. それ以上

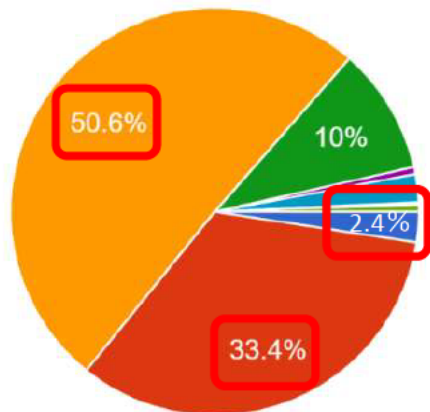


望ましい教育環境<<三芳町が目指す教育環境：アンケート結果>>

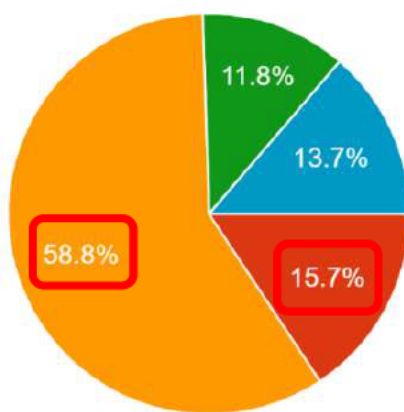
設問4 通学時間について/中学校

- ア. 10分以内
- イ. 20分以内
- ウ. 30分以内
- エ. 40分以内
- オ. 50分以内
- カ. 60分以内
- キ. それ以上

【保護者】



【教職員】



【運営協議会委員】

